

平成19年度伊方発電所の放射性固体廃棄物処分計画及び使用済燃料処理計画並びに新燃料搬入計画書の提出について

19.3.29
原子力安全対策推進監
(内線 2352)

1 本日、四国電力(株)から、安全協定に基づき、伊方発電所の放射性固体廃棄物処分計画及び使用済燃料処理計画並びに新燃料搬入計画書の提出がありました。

2 同計画書によると、輸送計画の概要は次のとおりです。

(1) 放射性固体廃棄物処理計画

搬出数量	放射性固体廃棄物 880個
搬出回数及び時期	1回(平成19年11月)
輸送方法	伊方発電所専用岸壁から海上輸送する。
搬出先施設名	日本原燃(株)低レベル放射性廃棄物埋設センター (青森県上北郡六ヶ所村)
輸送容器の型式	LLW-1型
輸送容器の個数	110個

(2) 使用済燃料処理計画

搬出数量	使用済燃料集合体 56体 (うち1号機用 28体 2号機用 28体)
搬出回数及び時期	1回(平成19年7月~9月)
輸送方法	伊方発電所専用岸壁から海上輸送する。
搬出先施設名	日本原燃(株)使用済燃料受入れ・貯蔵施設 (青森県上北郡六ヶ所村)
輸送容器の型式	NFT-14P型
輸送容器の個数	4個

(3) 新燃料搬入計画

搬入数量	新燃料集合体 76体 (うち1号機用 12体 2号機用 20体 3号機用 44体) 【全てステップ2高燃焼度燃料】
輸送回数及び時期	1回(平成19年7月~9月)
輸送方法	伊方発電所専用岸壁まで海上輸送する。
搬入元施設名	原子燃料工業(株)熊取事業所 (大阪府泉南郡熊取町)
輸送容器の型式	NFI-型
輸送容器の個数	38個

3 県としては、四国電力(株)から提出された放射性固体廃棄物輸送安全対策書及び使用済燃料輸送安全対策書並びに新燃料搬入安全対策書について、「伊方原子力発電所環境安全管理委員会技術専門部会」および国(経済産業省および国土交通省)の意見を聞き、輸送の安全性を確認することとしています。

4 なお、平成18年度の新燃料等輸送実績は、次のとおりです。

(1) 放射性固体廃棄物

輸送は実施していない。

(2) 使用済燃料

搬出数量	使用済燃料集合体 42体 [1号機用 42体]
輸送完了日	平成18年9月29日(金)【搬出:9月22日】
輸送方法	伊方発電所専用岸壁から海上輸送した。
搬出先施設名	日本原燃(株)使用済燃料受入れ・貯蔵施設 (青森県上北郡六ヶ所村)
輸送容器の型式	NFT-14P型
輸送容器の個数	3個

日本原燃(株)使用済燃料受入れ・貯蔵施設搬入日

(3) 新燃料

搬入数量	新燃料集合体 110体 〔うち1号機用 34体 2号機用 44体 3号機用 32体〕 【全てステップ2高燃焼度燃料】
輸送方法	伊方発電所専用岸壁まで海上輸送した。
輸送完了日	平成18年7月28日(金)
搬入元施設名	三菱原子燃料(株)本社製作所 (茨城県那珂郡東海村)
輸送容器の型式	MFC-1型
輸送容器の個数	55個